

2017年11月
成田空港活用協議会

成田空港国内線の利用状況と国内線を利用する来県者動向に係る調査[概要版]

◆◆◆調査結果の要約◆◆◆

《成田空港国内線の利用動向》

- 目的地のトップ5は、北海道（24.6%）、海外（15.9%）、東京都（13.4%）、沖縄県（12.3%）、福岡県（11.2%）となっている。千葉県は5.5%（前回調査比+0.3ポイント）で全国7位であった。
- 成田空港を利用して満足な理由は、「航空料金が安かった（適正だった）」の満足度が前回調査より高まった（前回調査29.8%→今回調査33.8%）。
- 利用回数は、1～4回の利用者の割合は約8割と多い。5回以上の利用者が「個人での旅行・観光」を中心に前回調査比で増加した。
- 利用航空会社は、LCC利用者のシェアが36.2%（前回調査比+21.2ポイント）とJAL・ANAの水準を上回った
- LCC利用者の割合を国内線就航地別にみると、「沖縄県（68.6%）」が最も多く、「愛媛県（63.7%）」、「大分県（60.4%）」が続いている。
- LCCの認知度（LCC未利用者が対象）は、関東在住者の約7割が「知っている」と回答した。
- 羽田空港併用者が成田空港を利用した理由は、「格安航空会社（LCC）を利用したいから」が24.5%（前回調査比+9.2ポイント）に増加したことが目立つ。
- 成田空港の利用意向がある未利用者の成田空港国内線の利便性向上に関する認知度は、「知っている」が21.4%と前回調査比+2.1ポイント増加した。

《千葉県への来県者動向》

- 成田空港の国内線利用者の目的地は、多い順に、北海道、海外、東京都となっている。「千葉県」は5.5%で全国7位であった。
- 千葉県には、西日本（山口県や鳥取県、愛媛県など）からの来訪が多い。
- 千葉県内の訪問地は、浦安市、千葉市、成田市、船橋市、市川市がトップ5となっており、浦安市の大幅増加が目立った（前回調査29.5%→今回調査39.2%）。
- 千葉県への訪問目的では「テーマパーク、名所旧跡など観光スポットめぐり」、「お風呂・温泉でくつろぐ」、「おいしいものを食べる」などの割合が増加した。
- 千葉県への訪問回数は、「10回以上」が32.1%と前回調査比+6.0ポイント増加した。
- 旅行全体の費用は、高齢者を中心に「5万円以上10万円未満」が前回調査比1割程度増加した。

《成田空港までのアクセス（2次交通）の利用状況》

- 成田空港までのアクセス（2次交通）の利用状況は、JRと京成が3割台半ばで拮抗し、いずれも前回調査比やや増加した。「格安バス」の利用は8.2%（前回調査比+2.7ポイント）となっている。
- 成田空港までのアクセス（2次交通）に満足したという回答は約6割を占めており、満足した理由としては、「運行本数が多い（または適正）」及び「運賃や料金等が安い（または適正）」が前回調査比増加した。
- 首都圏中央連絡自動車道と東京湾アクアラインの認知度は、圏央道が約6割（前回調査比+1割程度）、東京湾アクアラインは約7割（同+5%程度）となっている。
- 利用状況は、圏央道は42.5%（前回調査比+19.9ポイント）、「東京湾アクアライン」は34.3%（同+13.6ポイント）が利用した。
- 格安バスの認知度（格安バスの未利用者が対象）は41.9%（前回調査比+10.4ポイント）となっている。

◆◆◆成田空港活用協議会の事業の6本柱に沿った要約◆◆◆

《事業1》国内線利用者の県内観光の推進

- 国内線就航地の在住者の目的地は、千葉県（8.9%）が東京都、海外、北海道に次ぐ全国4位（前回調査では7位）となり、国内線就航地からの来訪が活発化した。
- 千葉県を訪れた目的は、「テーマパーク、名所旧跡など観光スポットめぐり」、「お風呂・温泉でくつろぐ」、「おいしいものを食べる」などが前回調査より増加した。

《事業2》インバウンド県内観光の推進

- 成田空港の国別入出国者数（外国人）は、2012年の7,098千人からアジアを中心に右肩上がりの増加を続け、2016年には13,637千人（2012年比+1.9倍）となっている。
- インバウンドを過去1年間に受け入れた企業は約5割で、うち1割程度は頻繁に受け入れている。インバウンドに積極的に対応している企業の業績は、そうでない企業に比べて好調に推移している。

《事業3》成田空港発の県内企業ビジネスの創出

- 成田空港の利用目的は、個人での旅行・観光が8割、ビジネスが約2割となっている。ビジネスの利用割合が前回調査より増加した（前回調査16.8%→今回調査22.0%）。
- 過去3年間の輸出入の増減をみると、「増加した」が44.9%と「減少した（17.1%）」を27.8ポイント大幅に上回った。
- 千葉県の訪問目的をみると、浦安市は、「テーマパーク、名所旧跡など観光スポットめぐり」や「おいしいものを食べる」などが県内1位で関連業界のビジネスチャンスが拡大している。

《事業4》ナリタファンの拡大

- 首都圏民のリピーター（5回以上の利用者）が、「個人での旅行・観光」を中心に前回調査より増加した。
- LCCの未利用者でLCCを「知っている」と回答したのは、学生が53.5%（前回調査比+11.2ポイント）と大幅増加した。
- 首都圏民が成田空港を利用して満足な理由として、「空港内の施設（飲食店・小売店など）やサービスが良かった」が21.1%と前回調査比+10.0ポイント大幅に増加した。

《事業5》OUR AIRPORTとしての利用促進

- 首都圏民が成田空港を利用した際の満足な理由は、「空港内の施設（飲食店・小売店など）やサービスが良かった」が21.1%と前回調査比+10.0ポイント大幅に増加した。
- 首都圏民は、成田空港の国内線を利用して、北海道など国内線就航地との往来を活発化させている。

《事業6》成田空港の利便性向上

- 成田空港へのアクセスが満足な理由として、「運行本数が多い（または適正）」及び「運賃や料金等が安い（または適正）」が前回調査より増加した一方、「乗り継ぎが便利」や「発着地（ネットワーク）が充実している」などは減少した。
- 国内線利用者の高速道路の利用状況をみると、圏央道は42.5%（前回調査比+19.9ポイント）、「東京湾アクアライン」は34.3%（同+13.6ポイント）が利用した。
- 格安バスの認知度は約4割（前回調査比+1割程度）となっている。特に、「首都圏」における認知度は約5割（同+1割程度）と高水準となっている。

調査概要

調査目的	成田空港活用協議会は、設立（2013年）から5年が経過したが、この間、同協議会では、成田空港及び県内の関連企業・自治体などの持続的な成長に向けて、経済活性化及びプロモーションの視点から様々な事業を実施してきた。本調査は、2013年度に実施した「成田空港国内線の利用状況と国内線を利用する来県者動向に係る調査」の経年変化を測定し、この間の成田空港活用協議会の活動成果を客観的に検証するために実施する。			
調査期間	2017年8月3日（木）～9日（水） ※前回調査の実施時期は2013年10月12日（土）～13日（日）			
調査方法	インターネットによるウェブ・アンケート調査			
調査対象者	全国の15歳以上の男女6,100人 回答サンプルの割付数は以下の通り（カッコ内はサンプル数）			
	調査対象 (6,100)	国内線 就航地 (4,100)	国内線利用 実績あり (2,300)	千葉県(800)
				国内線就航地(1,500) 注1
		国内線 就航地以外 (2,000)	国内線利用 実績なし (1,800)	千葉県(300)
				国内線就航地(1,500) 注1
			利用実績あり (2,000)	首都圏【千葉県を除く】注2 (1,000)
				その他【千葉県を除く】 (1,000)

(注)1. 北海道、宮城県、新潟県、石川県、愛知県、大阪府、広島県、香川県、愛媛県、福岡県、大分県、佐賀県、熊本県、鹿児島県、沖縄県
2. 東京都、神奈川県、埼玉県、茨城県、栃木県、群馬県、山梨県

調査項目一覧

ジャンル	設問
属性	性別／年齢層／居住地／婚姻状況／子供の有無／職業
成田空港の利用動向	成田空港の利用動向（発着別）／行先地・利用航空会社（発着別） 利用目的／ツアー・個人旅行／同行者／利用時の満足度 満足な理由／不満足な理由／国内線利用時の目的地
成田空港国内線利用時の県内来訪動向	来訪地（市町村別）／訪問月／訪問回数／旅程 宿泊地（市町村別）訪問目的／情報入手方法／旅行全体の費用 飲食・土産代（一人当たり）／購入した土産品 千葉県訪問時の満足度（全体感・項目別）／千葉県の再訪意向
アクセス（2次交通）	アクセス（2次交通）／満足度／満足理由／不満足理由 圏央道・アクアラインの認知度及び利用状況・利用時の満足度 利用しなかった理由・認知度／格安バスの利用意向
羽田空港併用者意向	羽田空港国内線の利用動向／羽田空港ではなく成田空港を利用した理由 成田空港国内線の再利用の意向
国内線・LCCの認知度	成田空港国内線の認知度 LCCの認知度
潜在的な利用ニーズ	成田空港国内線の将来的な利用意向／将来的に利用したい航空会社／成田空港を利用する際の利用目的／成田空港の利用条件

1. 成田空港国内線の利用動向

(1) 概要

- 目的地のトップ5は、北海道（24.6%）、海外（15.9%）、東京都（13.4%）、沖縄県（12.3%）、福岡県（11.2%）となっている。千葉県は5.5%（前回調査比+0.3ポイント）で全国7位であった（図表1）。
- 同行者は、「1人」による利用が増加し、「家族」と「1人」が約4割と拮抗している（図表2）。
- 成田空港を利用して満足な理由は、「空港と目的地（または自宅）のアクセスが良かった」、「航空料金が安かった（適正だった）」、「航空機の運航ダイヤが良かった」、の順になっている（図表3）。「航空料金が安かった（適正だった）」の満足度が前回調査より高まった（前回調査29.8%→今回調査33.8%）。
- 利用回数は、1～4回の利用者の割合は約8割と多い（図表4）。5回以上の利用者が「個人での旅行・観光」を中心に前回調査比で増加した。

(図表1)目的地[都道府県別]

(単位:%、ポイント)

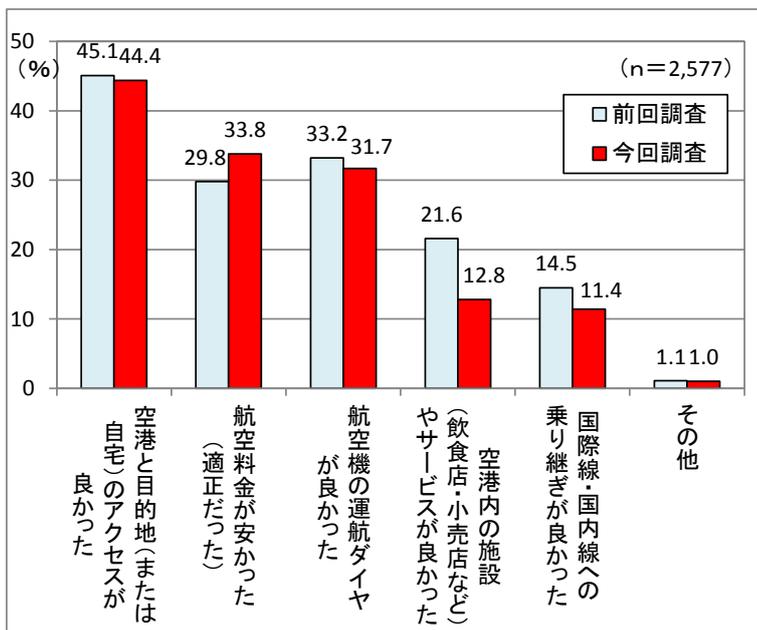
	前回調査 (A)	今回調査 (B)	差異 (B-A)
北海道	26.5	24.6	▲ 1.9
海外	14.8	15.9	▲ 1.1
東京都	11.3	13.4	▲ 2.1
沖縄県	16.6	12.3	▲ 4.3
福岡県	10.5	11.2	▲ 0.7
大阪府	11.5	10.4	▲ 1.1
千葉県	5.2	5.5	▲ 0.3
鹿児島県	4.0	4.3	▲ 0.3
広島県	3.1	3.0	▲ 0.1
愛知県	2.8	2.8	▲ 0.0

(図表2)同行者

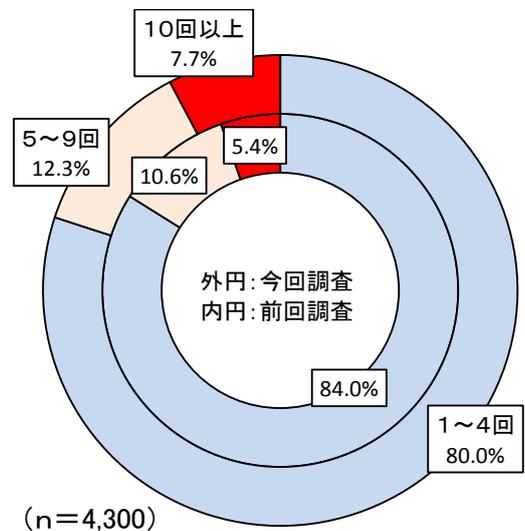
(単位:%、ポイント)

	前回調査 (A)	今回調査 (B)	差異 (B-A)
家族	45.3	42.7	▲ 2.6
夫婦	16.8	17.1	▲ 0.3
子ども連れ	15.3	14.0	▲ 1.3
成人のみ	13.2	11.6	▲ 1.6
1人	30.3	38.0	▲ 7.7
友人	15.9	11.5	▲ 4.4
会社関係	8.5	9.0	▲ 0.5
団体	5.3	1.5	▲ 3.8
その他	0.6	0.5	▲ 0.1

(図表3)利用して満足な理由(満足と回答した回答者:59.9%)



(図表4)利用回数



(2) LCCの利用状況

- 利用航空会社は、LCC利用者のシェアが36.2%（前回調査比+21.2ポイント）とJAL・ANAの水準を上回った（図表5）。
- LCC利用者の割合を国内線就航地別にみると、「沖縄県（68.6%）」が最も多く、「愛媛県（63.7%）」、「大分県（60.4%）」が続いている（図表6）。
- LCCの認知度（LCC未利用者が対象）は、関東在住者の約7割が「知っている」と回答し、都県別には、東京都や神奈川県、埼玉県の認知度が前回調査比で増加したことが目立った（図表7）。

(図表5)利用航空会社

(単位: %、ポイント)

	合計		成田空港 出発便		成田空港 到着便	
		前回調査比		前回調査比		前回調査比
回答数 ^(注2)	6,068	544	3,219	277	2,849	267
日本航空(JAL)	30.4	▲ 7.7	31.7	▲ 7.5	28.9	▲ 8.0
全日本空輸(ANA)	29.1	▲ 5.6	29.1	▲ 5.7	29.2	▲ 5.4
LCC合計	36.2	21.2	34.9	20.5	37.6	22.0
IBEXエアラインズ(IBX)	0.9	▲ 0.4	0.8	▲ 0.2	1.0	▲ 0.5
その他	3.4	▲ 0.3	3.6	0.1	3.3	▲ 0.7

(注)1. 「覚えていない」を除く。

2. 成田空港国内線の出発便と到着便の合計につき、回答数合計は回答者数(4,300人)を上回っている。

(図表6)LCC利用者の割合[国内線就航地]

(単位: %、ポイント)

	回答数	LCC合計	前回調査比
沖縄県	137	68.6	37.6
愛媛県	157	63.7	27.3
大分県	154	60.4	28.9
香川県	150	55.3	42.4
千葉県	1,205	52.8	29.0
熊本県	141	51.8	43.2
鹿児島県	146	50.7	25.7
北海道	161	46.0	27.8
佐賀県	137	36.5	7.9
福岡県	140	35.0	11.3

(図表7)LCCの認知度(LCC未利用者)

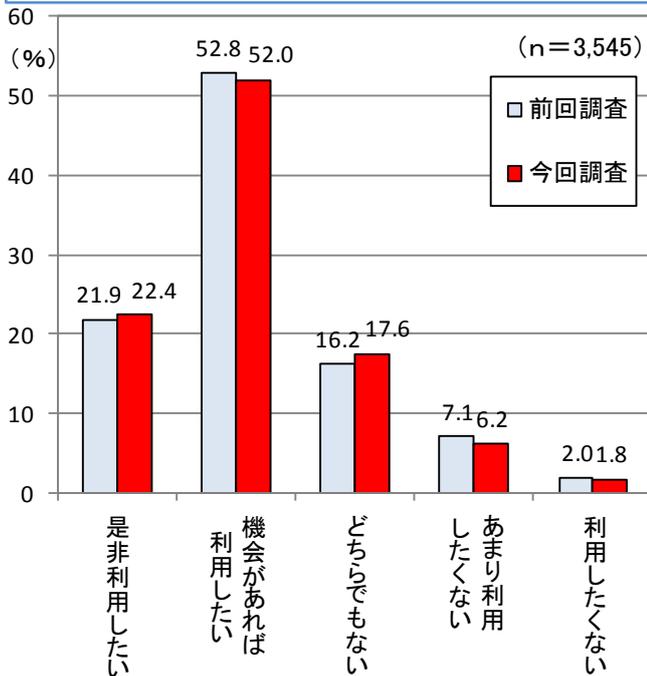
(単位: %、ポイント)

	回答数	知っている		
			前回調査比	
全体	4,780	58.2	▲ 1.1	
地方別	北海道	157	53.5	▲ 3.5
	東北	333	52.3	▲ 2.1
	関東	1,430	68.2	2.5
	うち千葉県	737	68.1	0.7
	うち東京都	340	70.3	7.2
	うち神奈川県	169	69.2	6.4
	うち埼玉県	102	66.7	5.4
	中部	774	52.6	▲ 2.3
	近畿	543	61.0	0.7
	中国	259	49.8	▲ 2.6
四国	313	54.6	▲ 4.2	
九州・沖縄	971	52.5	▲ 1.2	

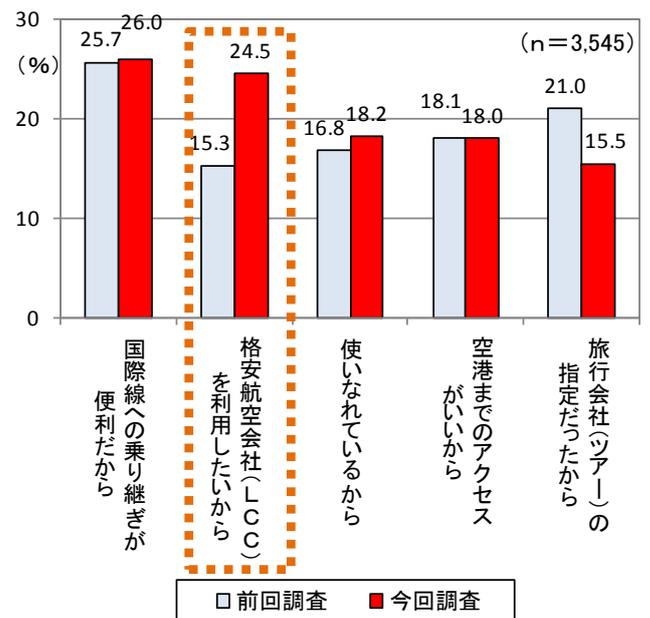
(3) 潜在的な利用ニーズ及び国内線の利便性向上の認知度

- 羽田空港併用者の成田空港国内線の利用意向について、「是非利用したい（2割）」及び「機会があれば利用したい（約5割）」ともに前回調査と同水準であった（図表8）。
- 羽田空港併用者が成田空港を利用した理由は、「格安航空会社（LCC）を利用したいから」が24.5%（前回調査比+9.2ポイント）と増加したことが目立つ（図表9）。
- 成田空港の利用意向がある未利用者が将来利用したい航空会社は、フルサービスキャリア（約5割）と格安航空会社（約4割）がいずれも前回調査比増加した（図表10）。
- 成田空港の利用意向がある未利用者の成田空港国内線の利便性向上に関する認知度は、「知っている」が21.4%と前回調査比+2.1ポイント増加した（図表11）。

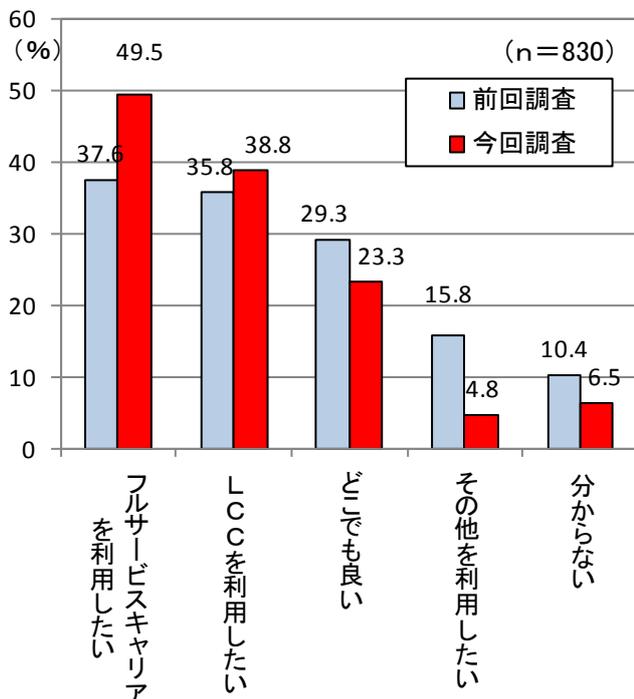
(図表8) 成田空港国内線の将来的な利用意向
(成田空港国内線羽田空港国内線の併用者)



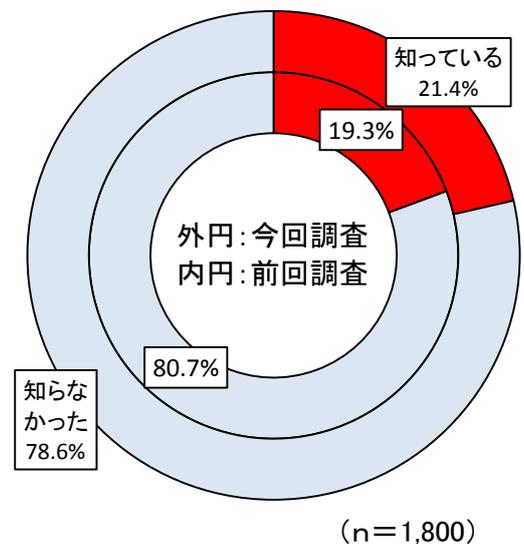
(図表9) 羽田空港でなく成田空港を利用した理由
(羽田空港の併用者)



(図表10) 将来利用したい航空会社
(成田空港国内線の未利用者のうち利用意向のある人)



(図表11) 成田空港国内線の利便性向上に関する認知度
(成田空港国内線の未利用者)



2. 千葉県への来県者動向

(1) 概要

- 国内線利用者の目的地は、多い順に、北海道、海外、東京都となっている。「千葉県」は 5.5% で全国 7 位であった (図表 12)。居住地別にみると、国内線就航地在住者の目的地は、「千葉県 (8.9%)」が 4 位 (前回 7 位) に上昇している。
- 千葉県には、西日本 (山口県や鳥取県、愛媛県など) からの来訪が多い (図表 13)。
- 千葉県内の訪問地は、浦安市、千葉市、成田市、船橋市、市川市がトップ 5 となっており、浦安市の大幅増加が目立った (前回調査 29.5% → 今回調査 39.2%) (図表 14)。

(図表 12) 国内線就航地の在住者の目的地 (成田空港の国内線利用者)

(単位: %、ポイント)

	合計(回答数4,300)			首都圏(回答数1,792)			国内線就航地(回答数1,500)			その他の地域(回答数1,008)		
		前回調査比			前回調査比			前回調査比		前回調査比		
1位	北海道	24.6	▲ 1.9	北海道	36.0	0.4	東京都	23.3	4.3	北海道	20.0	▲ 0.2
2位	海外	15.9	1.1	沖縄県	17.4	▲ 5.3	海外	16.3	1.2	海外	17.1	1.1
3位	東京都	13.4	2.1	福岡県	16.1	3.2	北海道	13.9	▲ 4.2	東京都	16.2	0.1
4位	沖縄県	12.3	▲ 4.3	海外	15.0	1.0	千葉県	8.9	2.1	大阪府	11.2	▲ 2.2
5位	福岡県	11.2	0.7	大阪府	13.1	1.3	福岡県	8.8	0.6	沖縄県	10.0	▲ 1.8
6位	大阪府	10.4	▲ 1.1	鹿児島県	5.7	1.9	沖縄県	7.7	▲ 3.8	福岡県	6.1	▲ 2.9
7位	千葉県	5.5	0.3	東京都	3.5	0.1	大阪府	6.7	▲ 2.8	兵庫県	5.9	▲ 1.0
8位	鹿児島県	4.3	0.3	広島県	3.2	0.8	石川県	4.6	▲ 0.1	千葉県	5.7	▲ 2.1
9位	広島県	3.0	▲ 0.1	愛媛県	3.2	1.8	神奈川県	4.3	1.5	愛知県	3.1	0.4
10位	愛知県	2.8	0.0	熊本県	3.2	2.2	鹿児島県	4.1	▲ 1.6	神奈川県	2.5	▲ 0.4
14位				千葉県	2.6	▲ 0.1						

(前回調査: 7位)

(前回調査: 8位)

(前回調査: 7位)

(前回調査: 7位)

(図表 13) 千葉県への来訪が多い府県 (上位 10 位)

(単位: %、ポイント)

		前回調査 (A)	今回調査 (B)	差異 (B-A)
1位	山口県	7.7	21.1	13.4
2位	鳥取県	0.0	18.2	18.2
3位	愛媛県	8.0	17.0	9.0
4位	岡山県	8.7	13.3	4.6
5位	福岡県	3.0	13.0	10.0
6位	京都府	11.5	12.6	1.1
7位	佐賀県	9.1	12.0	2.9
	熊本県	2.3	12.0	9.7
9位	大分県	6.0	11.0	5.0
	沖縄県	11.0	11.0	0.0

(図表 14) 千葉県内の訪問地

(単位: %、ポイント)

		前回調査 (A)	今回調査 (B)	差異 (B-A)
1位	浦安市	29.5	39.2	9.7
2位	千葉市	34.8	27.8	▲ 7.0
3位	成田市	22.7	15.6	▲ 7.1
4位	船橋市	10.1	14.3	4.2
5位	市川市	3.9	5.9	2.0
6位	松戸市	4.3	5.1	0.8
	銚子市	5.8	5.1	▲ 0.7
8位	柏市	4.3	3.8	▲ 0.5
9位	館山市	1.0	3.0	2.0
	木更津市	4.3	3.0	▲ 1.3

(2) 訪問目的・訪問回数・旅行全体の費用

- 千葉県への訪問目的のトップ3は「テーマパーク、名所旧跡など観光スポットめぐり」、「友人・知人宅の訪問」、「おいしいものを食べる」の順となっている（図表 15）。前回調査比の増加率が大きかったのは「テーマパーク、名所旧跡など観光スポットめぐり」、「お風呂・温泉でくつろぐ」、「おいしいものを食べる」などであった。
- 千葉県への訪問回数は、「10回以上」が32.1%と前回調査比+6.0ポイント増加した（図表 16）。
- 旅行全体の費用は、「3万円以上5万円未満」と「5万円以上10万円未満」が約3割で拮抗している（図表 17）。高齢者を中心に「5万円以上10万円未満」が前回調査比1割程度増加した。

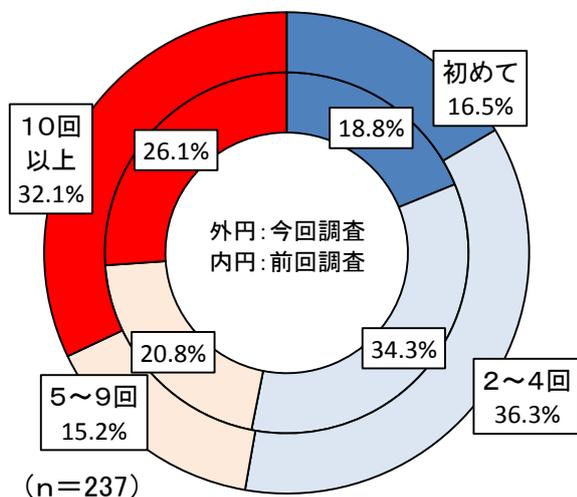
(図表 15) 千葉県を訪問した目的(自治体別)

(単位: %、ポイント)

		全体	テーマパーク、名所旧跡など観光スポットめぐり	友人・知人宅の訪問	おいしいものを食べる	ビジネス	自然に親しむ	お風呂・温泉でくつろぐ	祭りやイベントへの参加	実家への帰省	ドライブ	スポーツ
合計		-	49.4	19.3	17.7	16.5	11.0	11.0	8.9	6.8	2.1	3.0
		-	5.4	▲ 9.7	1.3	1.0	▲ 1.6	2.3	1.2	0.0	▲ 3.2	▲ 0.4
自治体別	1位	浦安市	浦安市	千葉市	浦安市	千葉市	船橋市	浦安市	千葉市	船橋市	銚子市	千葉市
		39.2	70.9	34.0	45.2	33.3	26.9	30.8	33.3	43.8	40.0	71.4
	9.7	13.8	▲ 2.7	30.5	▲ 4.2	7.7	30.8	8.3	29.5	21.8	42.8	
	2位	千葉市	千葉市	浦安市	千葉市	成田市	千葉市	船橋市	浦安市	千葉市	成田市	市川市
		27.8	23.1	29.8	38.1	38.1	23.1	23.1	33.3	12.5	40.0	14.3
	▲ 7.0	▲ 3.3	9.8	▲ 14.8	16.2	▲ 11.5	12.0	2.0	▲ 8.9	3.6	14.3	
3位	成田市	船橋市	船橋市	船橋市	船橋市	浦安市	千葉市	成田市	成田市	君津市	船橋市	
	15.6	11.1	27.7	23.8	23.8	23.1	19.2	19.0	12.5	40.0	14.3	
▲ 7.1	▲ 1.0	14.4	6.2	14.4	11.6	▲ 36.4	▲ 24.8	▲ 16.1	40.0	▲ 14.3		

(注) 1. 数字の下段は前回調査比の増減率。
 2. 網掛けは、前回調査比の増加率が二桁。

(図表 16) 訪問回数



(図表 17) 旅行全体の費用(1人あたり)

(単位: %)

	前回調査 (A)	今回調査 (B)	差異 (B-A)
1万円未満	6.8	7.6	0.8
1万円以上3万円未満	24.6	19.0	▲ 5.6
3万円以上5万円未満	36.2	31.6	▲ 4.6
5万円以上10万円未満	23.7	33.3	9.6
10万円以上	8.7	8.4	▲ 0.3
全体	100.0	100.0	-

3. 成田空港までのアクセス（2次交通）の利用状況

（1）概要

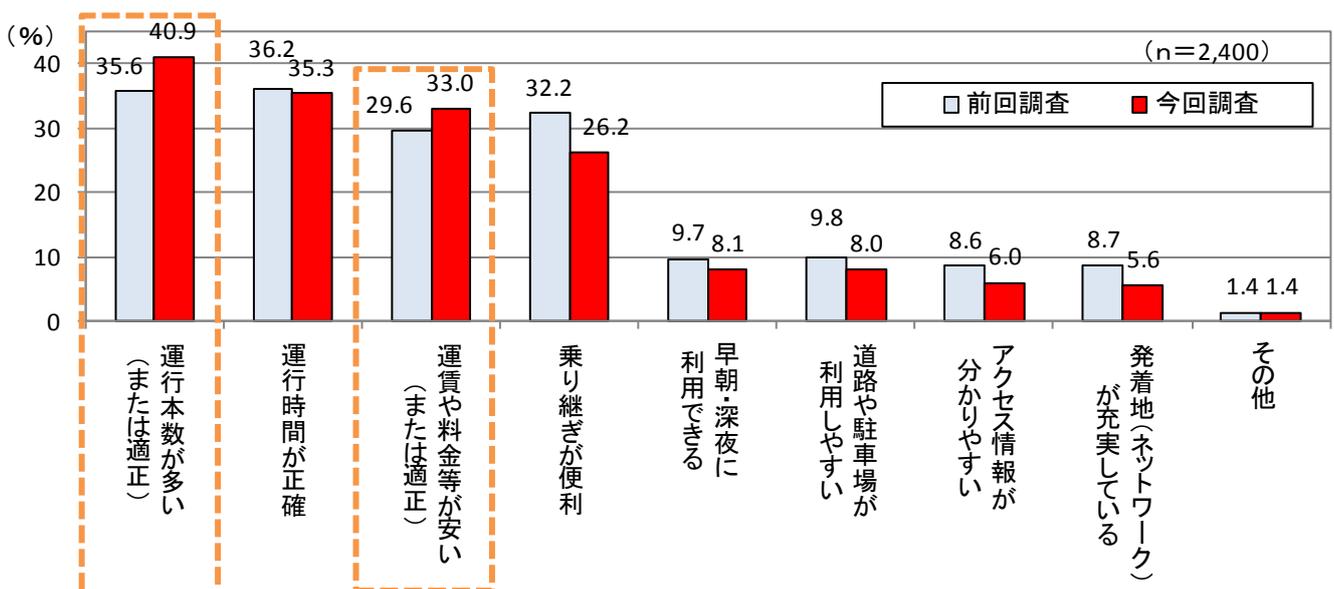
- 成田空港までのアクセス（2次交通）の利用状況は、JRと京成が3割台半ばで拮抗し、いずれも前回調査比やや増加した（図表18）。「格安バス」の利用は8.2%（前回調査比+2.7ポイント）となっている。
- 成田空港までのアクセス（2次交通）に満足したという回答は約6割（とても：約2割+やや：約4割）を占めており、満足した理由としては、「運行本数が多い（または適正）」及び「運賃や料金等が安い（または適正）」が前回調査比増加した一方、「乗り継ぎが便利」や「発着地（ネットワーク）が充実している」などは減少した（図表19）。

（図表18）アクセス（2次交通）の利用状況

（単位：％、ポイント）

(n=4,300)	前回調査 (A)	今回調査 (B)	差異 (B-A)
JR計	34.8	37.0	2.2
JR(成田エクスプレス)	24.8	27.6	2.8
JR(成田エクスプレス以外)	10.0	9.4	▲ 0.6
京成計	30.8	34.2	3.4
京成(スカイライナーなどの有料特急)	9.6	10.6	1.0
京成(京成本線)	14.7	15.3	0.6
京成(スカイアクセス線)	6.5	8.3	1.8
空港直行バス	21.1	18.9	▲ 2.2
格安バス(東京シャトル・THEアクセス成田)	5.5	8.2	2.7
地域路線バス	4.0	2.9	▲ 1.1
乗用車(マイカー)	16.7	14.5	▲ 2.2
乗用車(レンタカー)	3.4	3.0	▲ 0.4
タクシー・ハイヤー	5.7	4.8	▲ 0.9
その他	4.7	3.7	▲ 1.0

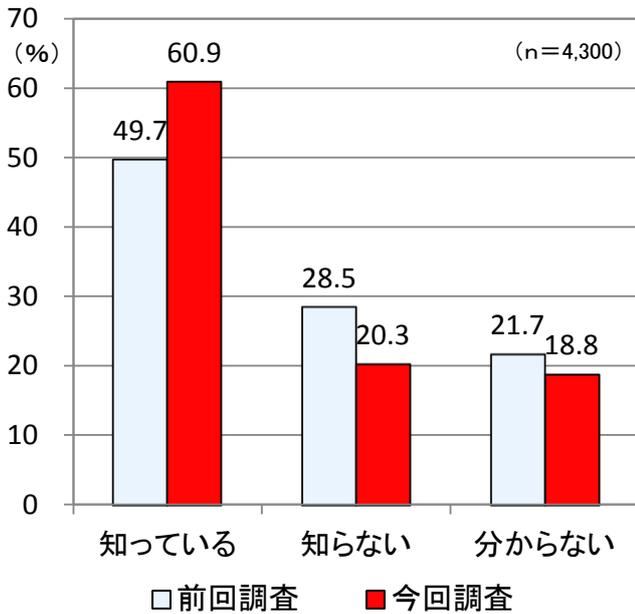
（図表19）アクセス（2次交通）の満足理由（「満足」と回答した割合：55.9%）



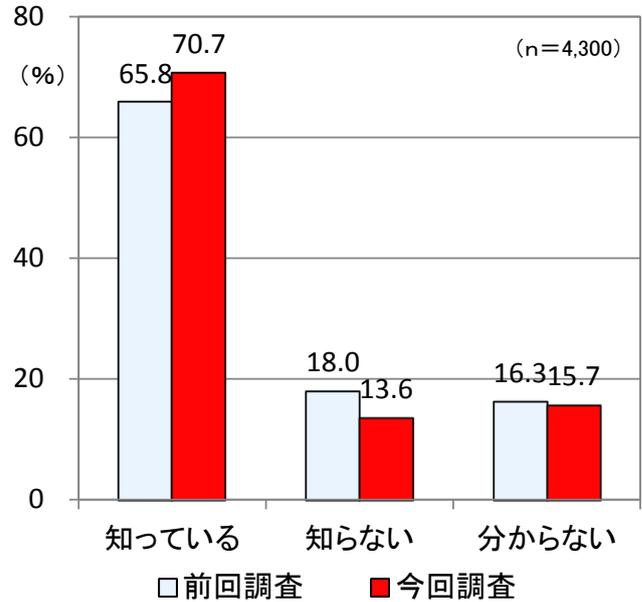
(2) 首都圏中央連絡自動車道及び東京湾アクアライン、格安バスの利用状況

- 首都圏中央連絡自動車道（圏央道）と東京湾アクアラインの認知度は、圏央道が 60.9%（前回調査比+11.2 ポイント）、東京湾アクアラインは 70.7%（同+4.9 ポイント）となっている（図表 20、21）。
- 利用状況は、圏央道は 42.5%（前回調査比+19.9 ポイント）、「東京湾アクアライン」は 34.3%（同+13.6 ポイント）が利用した（図表 22）。
- 格安バスの認知度（格安バスの未利用者が対象）は 41.9%（前回調査比+10.4 ポイント）となっている（図表 23）。とりわけ、「首都圏」における認知度は 49.9%（同+12.5 ポイント）と高水準となっている。

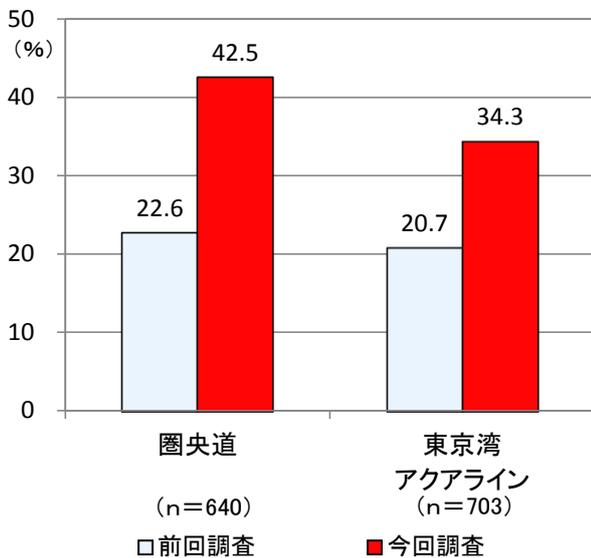
(図表 20) 圏央道の認知度



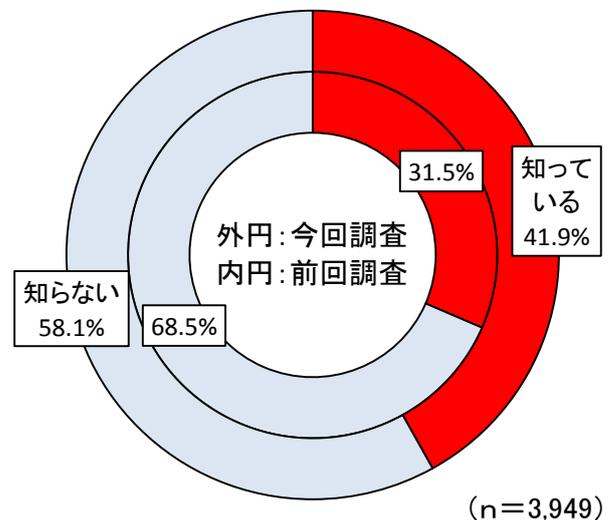
(図表 21) 東京湾アクアラインの認知度



(図表 22) 圏央道とアクアラインの利用状況
(2次交通で乗用車・タクシー・ハイヤーの利用者)



(図表 23) 格安バスの認知度
(格安バスの未利用者)



4. 事業の6本柱に関する指標

【事業1】国内線利用者の県内観光の推進

- 国内線就航地の在住者の目的地は、千葉県（8.9%）が東京都、海外、北海道に次ぐ全国4位（前回調査では7位）となり、国内線就航地からの来訪が活発化した（図表24）。
- 千葉県を訪れた目的は、「テーマパーク、名所旧跡など観光スポットめぐり」、「お風呂・温泉でくつろぐ」、「おいしいものを食べる」などが前回調査より増加した（図表25）。

（図表24）国内線就航地の在住者の目的地（成田空港の国内線利用者）

（単位：%、ポイント）

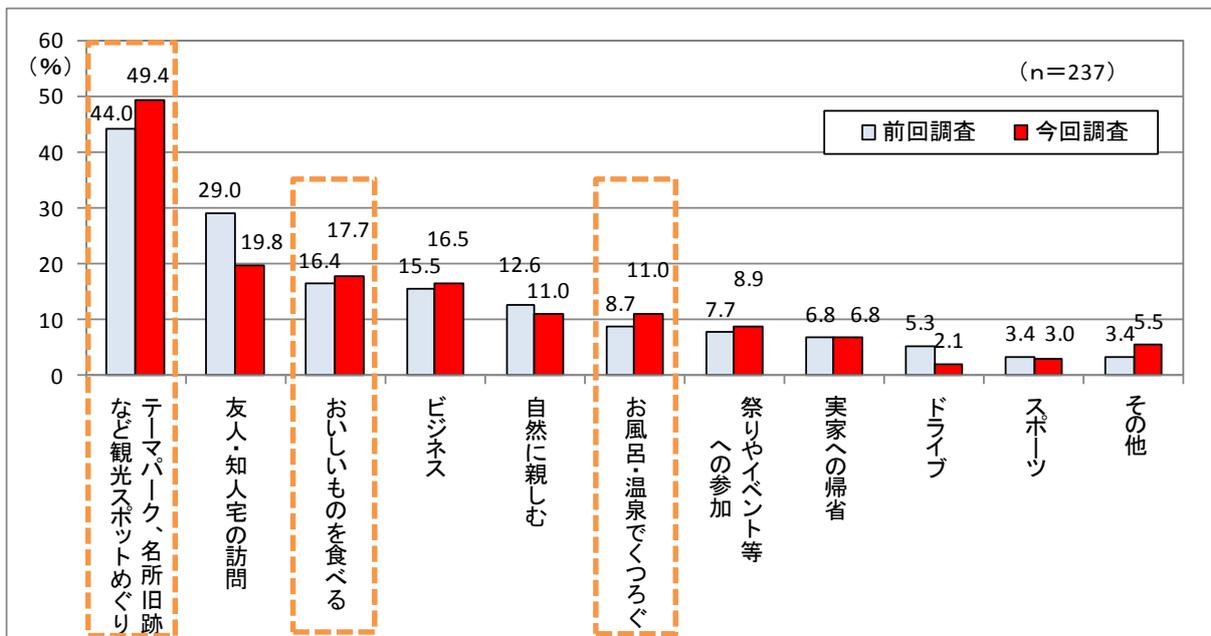
	全体(回答数1,500)			ビジネス(回答数344)			個人での旅行・観光(回答数1,122)		
		前回調査比			前回調査比		前回調査比		
1位	東京都	23.3	▲4.3	東京都	16.9	0.6	東京都	24.8	5.2
2位	海外	16.3	1.2	海外	15.1	3.2	海外	16.9	0.4
3位	北海道	13.9	▲4.2	北海道	13.1	▲2.8	北海道	14.4	▲4.3
4位	千葉県	8.9	2.1	福岡県	12.8	6.2	千葉県	10.1	2.7
5位	福岡県	8.8	0.6	大阪府	9.0	0.2	沖縄県	8.0	▲3.1
6位	沖縄県	7.7	▲3.8	沖縄県	6.7	▲5.2	福岡県	7.7	▲0.6
7位	大阪府	6.7	▲2.8	石川県	6.4	0.2	大阪府	5.8	▲3.9
8位	石川県	4.6	▲0.1	愛知県	5.2	▲2.3	神奈川県	5.3	2.3
9位	神奈川県	4.3	1.5	鹿児島県	4.9	▲3.5	石川県	4.2	▲0.3
10位	鹿児島県	4.1	▲1.6	千葉県	4.7	▲1.0	広島県	3.7	▲1.2

（前回調査：7位）

（前回調査：13位）

（前回調査：7位）

（図表25）成田空港の国内線を利用した千葉県への来訪者の訪問目的



主な実施事業

- 北海道との交流の促進
- 佐賀・広島・香川におけるプロモーション
- 学生コンテスト最優秀アイデアの具現化（女子旅×成田LCC）
- スポーツツーリズムをテーマとした就航先（熊本・愛媛・北海道）との交流促進

【事業2】インバウンドの県内観光の推進

- 成田空港の国別入出国者数（外国人）は、2012年の7,098千人からアジアを中心に右肩上がりの増加を続け、2016年には13,637千人（2012年比+1.9倍）となっている（図表26）。
- インバウンドを過去1年間に受け入れた企業は約5割で、うち1割程度は頻繁に受け入れている（図表27）。
- インバウンドに積極的に対応している企業の業績は、そうでない企業に比べて好調に推移している（図表28）。

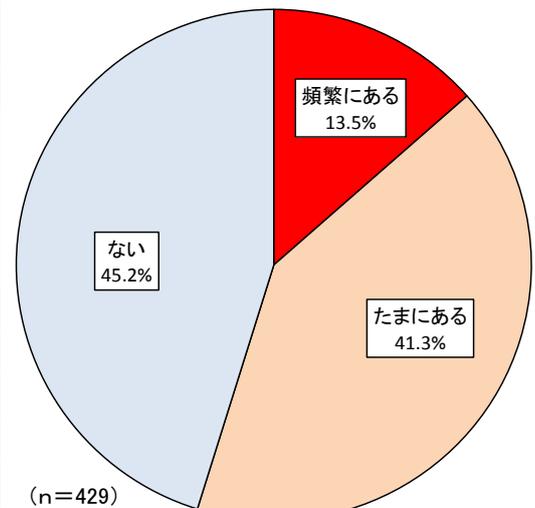
（図表26）成田空港の国別入出国者数（外国人）の推移

（単位：千人）

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2012年比 （%）	構成比 （%）
総数	7,098	8,509	9,858	12,216	13,637	1.9倍	100.0
アジア	4,340	5,406	6,621	8,662	9,721	2.2倍	71.3
うち中国	1,405	1,445	1,993	2,724	2,754	2.0倍	20.2
うち台湾	725	1,091	1,444	1,951	2,154	3.0倍	15.8
うち韓国	737	867	963	1,120	1,447	2.0倍	10.6
ヨーロッパ	1,073	1,232	1,180	1,273	1,385	1.3倍	10.2
北アメリカ	1,236	1,367	1,479	1,592	1,835	1.5倍	13.5
うち米国	1,004	1,108	1,208	1,310	1,504	1.5倍	11.0
南アメリカ	117	109	111	130	133	1.1倍	1.0
オセアニア	294	357	431	521	524	1.8倍	3.8
その他	38	38	36	38	39	3.0%	0.3

（出所）法務省「出入国管理統計統計表」

（図表27）インバウンドの過去1年間の利用状況



（図表28）インバウンドの受入状況と現在の業績との相関

（単位：%）

	回答数 (n)	現在の業績							
		「良い」計	とても良い	やや良い	横ばい	「悪い」計	やや悪い	とても悪い	
インバウンドの受入状況	頻繁にある	56	66.0	19.6	46.4	16.1	17.9	12.5	5.4
	たまにある	175	30.3	4.6	25.7	29.1	40.6	26.9	13.7
	ない	191	18.8	2.6	16.2	26.2	55.0	31.4	23.6
大企業	頻繁にある	12	91.6	33.3	58.3	0.0	8.3	8.3	0.0
	たまにある	12	66.7	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0
	ない	9	33.3	0.0	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0
中小企業	頻繁にある	44	59.1	15.9	43.2	20.5	20.4	13.6	6.8
	たまにある	163	27.6	4.9	22.7	28.8	43.5	28.8	14.7
	ない	182	18.1	2.7	15.4	25.8	56.0	31.3	24.7

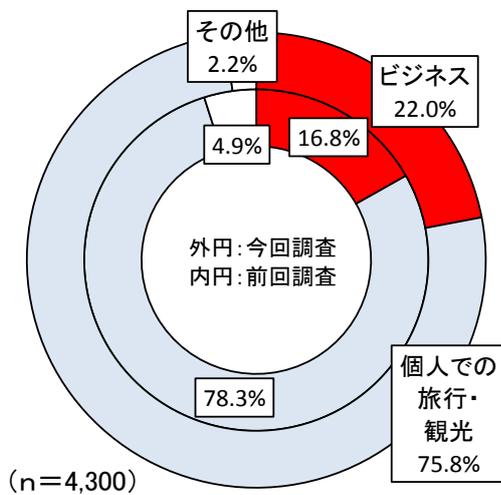
主な実施事業

- 千葉県トップセールスと連携した台湾プロモーション
- レンタカーを活用した香港ファミトリップ
- タイ王国からのメディア招聘事業
- ランドオペレーターとの商談会・交流会の実施
- 千葉県のインバウンドの対応力向上に向けた調査（2016年度）【図表27・28は調査結果】

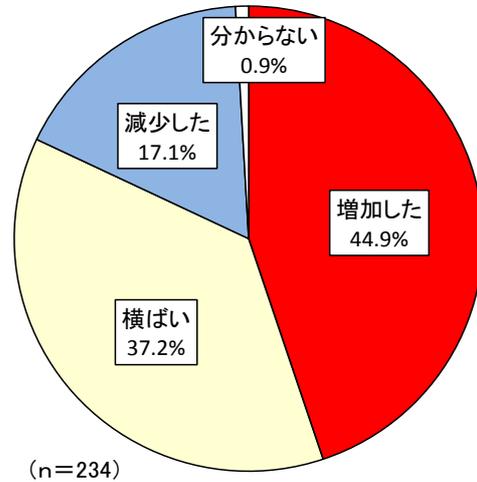
【事業3】成田空港発の県内企業ビジネスの創出

- 成田空港の利用目的は、個人での旅行・観光が8割、ビジネスが約2割となっている（図表29）。ビジネスの利用割合が前回調査より増加した（前回調査16.8%→今回調査22.0%）。
- 過去3年間の輸出入の増減をみると、「増加した」が44.9%と「減少した（17.1%）」を27.8ポイント大幅に上回った（図表30）。
- 千葉県の訪問目的をみると、浦安市は、「テーマパーク、名所旧跡など観光スポットめぐり」や「おいしいものを食べる」などが県内1位で関連業界のビジネスチャンスが拡大している（図表31）。千葉市は、「スポーツ」など4項目、船橋市は、「自然に親しむ」などい、銚子市は、「ドライブ」がそれぞれ1位となっている。

（図表29）成田空港の国内線の利用目的



（図表30）過去3年間の輸出入の増減
（東京圏+茨城県の輸出入取引がある企業）



（図表31）千葉県内の訪問地（訪問目的別：上位3自治体）

（単位：%、ポイント）

	全体	テーマパーク、名所旧跡など観光スポットめぐり	友人・知人宅の訪問	おいしいものを食べる	ビジネス	自然に親しむ	お風呂・温泉でくつろぐ	祭りやイベント等への参加	実家への帰省	ドライブ	スポーツ
1位	浦安市	浦安市	千葉市	浦安市	千葉市	船橋市	浦安市	千葉市	船橋市	銚子市	千葉市
	39.2 9.7	70.9 13.8	34.0 ▲2.7	45.2 30.5	33.3 ▲4.2	26.9 7.7	30.8 30.8	33.3 8.3	43.8 29.5	40.0 21.8	71.4 42.8
2位	千葉市	千葉市	浦安市	千葉市	成田市	千葉市	船橋市	浦安市	千葉市	成田市	市川市
	27.8 ▲7.0	23.1 ▲3.3	29.8 9.8	38.1 ▲14.8	38.1 16.2	23.1 ▲11.5	23.1 12.0	33.3 2.0	12.5 ▲8.9	40.0 3.6	14.3 14.3
3位	成田市	船橋市	船橋市	船橋市	船橋市	浦安市	千葉市	成田市	成田市	君津市	船橋市
	15.6 ▲7.1	11.1 ▲1.0	27.7 14.4	23.8 6.2	23.8 14.4	23.1 11.6	19.2 ▲36.4	19.0 ▲24.8	12.5 ▲16.1	40.0 40.0	14.3 ▲14.3

（注）1. 数字の下段は前回調査比の増減率。
2. 網掛けは、前回調査比の増加率が二桁。

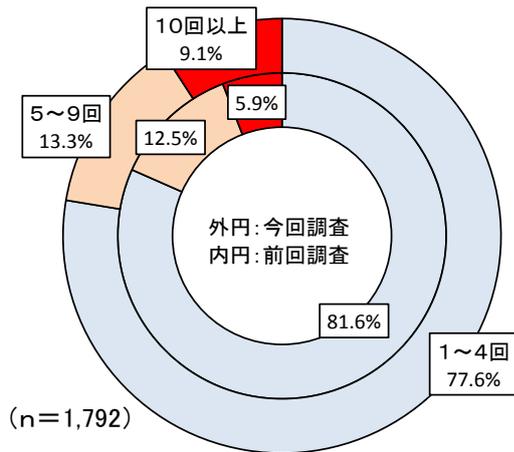
主な実施事業

- 県企業誘致セミナーとの連携事業
- 成田空港と圏央道を活用した地域開発プロジェクト研究会
- 県内経済活性化ビジネスセミナー
- 成田空港圏における物流動向調査（2015年度）【図表30は調査結果】

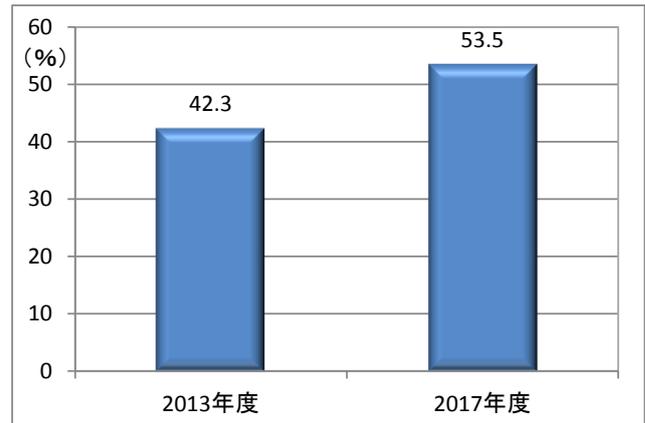
【事業4】ナリタファンの拡大

- 首都圏民のリピーター（5回以上の利用者）が、「個人での旅行・観光」を中心に前回調査より増加した（図表 32）。
- LCCの未利用者でLCCを「知っている」と回答したのは、学生が 53.5%（前回調査比+11.2ポイント）と大幅増加した（図表 33）。
- 首都圏民が成田空港を利用した際の満足な理由として、「空港内の施設（飲食店・小売店など）やサービスが良かった」が 21.1%と前回調査比+10.0ポイント大幅に増加した（図表 34）。

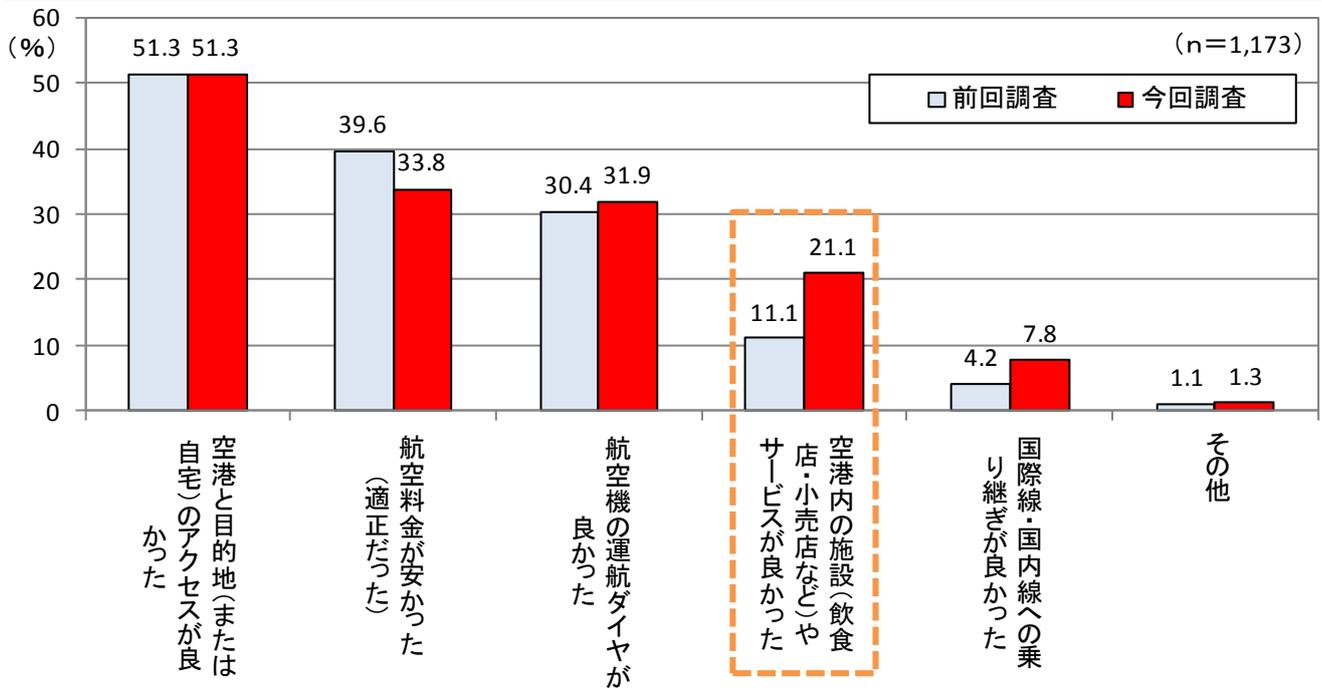
（図表 32）成田空港国内線の利用回数（首都圏民）



（図表 33）学生のLCCの認知度（LCCの未利用者）



（図表 34）成田空港を利用して満足な理由（「満足した」と回答した回答者（構成比：65.6%））（首都圏民）



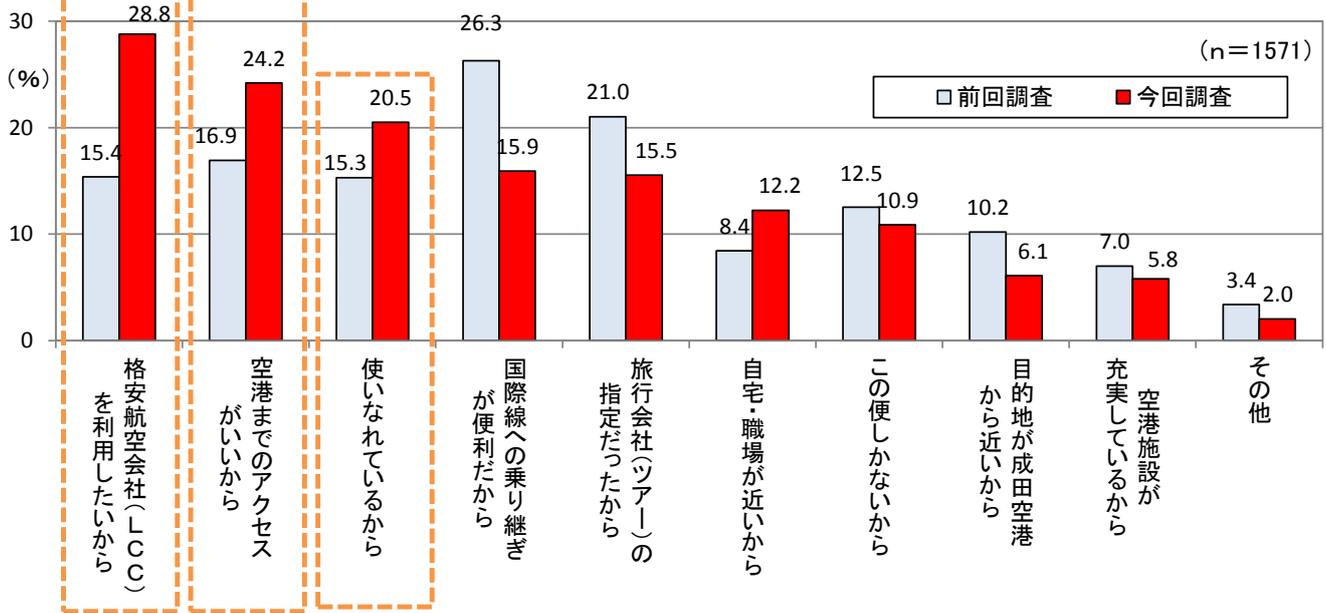
主な実施事業

- ナリタファンの拡大に向けた学生連携事業
- 教職員モニターツアー
- 成田空港親子見学バスツアー

【事業5】 OUR AIRPORTとしての利用促進

- 首都圏民の羽田空港ではなく成田空港を利用した理由としては、「格安航空会社（LCC）を利用したいから」、「空港までのアクセスがいいから」、「使いなれているから」の順になっており、いずれも前回調査比増加している。特に、「格安航空会社（LCC）を利用したいから」が 28.8%（前回調査比+13.4 ポイント）と大幅増加したことが目立つ（図表 35）。
- 首都圏民は、成田空港の国内線を利用して、北海道など国内線就航地との往来を活発化させている（図表 36）。

（図表 35）羽田空港ではなく成田空港を利用した理由（首都圏民）



（図表 36）成田空港国内線を利用する際の目的地（首都圏民）

（単位：%、ポイント）

目的地 居住地	北海道	沖縄県	福岡県	海外	大阪府	鹿児島県	東京都	広島県	熊本県	愛媛県	香川県	佐賀県	大分県	千葉県	兵庫県	石川県
	首都圏	36.0	17.4	16.1	15.0	13.1	5.7	3.5	3.2	3.2	3.2	3.1	2.7	2.7	2.6	2.5
前回調査比	0.4	▲ 5.3	3.1	0.9	1.3	1.9	0.0	0.8	2.2	1.8	2.1	1.6	0.8	▲ 0.1	0.0	▲ 0.0

（注）1. 降順で掲載。

2. 網掛けは、国内線就航地

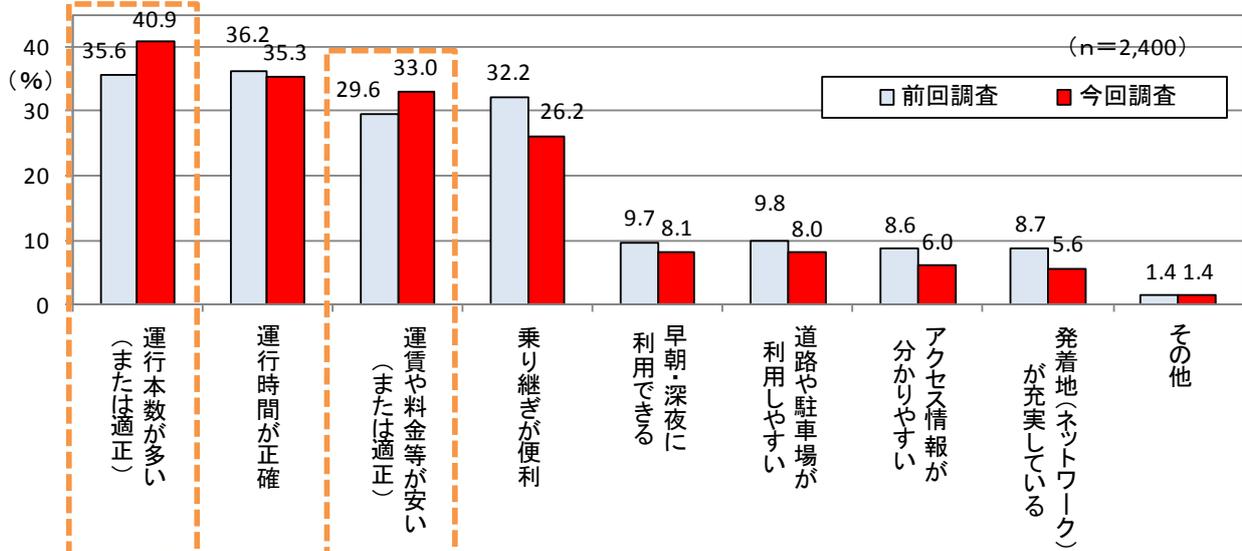
主な実施事業

- 県内・首都圏でのナリタPR
- 北関東エリアにおける成田空港利用促進等プロモーション
- 会員向け成田空港利用促進キャンペーン

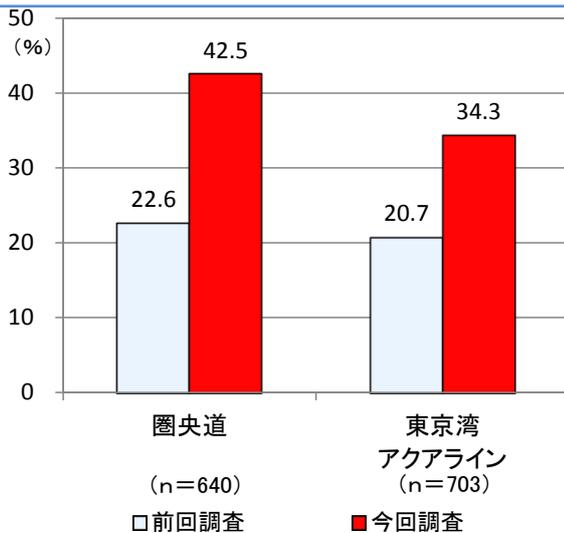
【事業6】成田空港の利便性向上

- 成田空港へのアクセスが満足な理由として、「運行本数が多い（または適正）」及び「運賃や料金等が安い（または適正）」が前回調査より増加した一方、「乗り継ぎが便利」や「発着地（ネットワーク）が充実している」などは減少した（図表 37）。
- 国内線利用者の高速道路の利用状況をみると、圏央道は 42.5%（前回調査比+19.9 ポイント）、「東京湾アクアライン」は 34.3%（同+13.6 ポイント）が利用した（図表 38）。
- 格安バスの認知度（格安バスの未利用者が対象）は約 4 割（前回調査比+1 割程度）となっている（図表 39）。特に、「首都圏」における認知度は約 5 割（同+1 割程度）と高水準となっている。

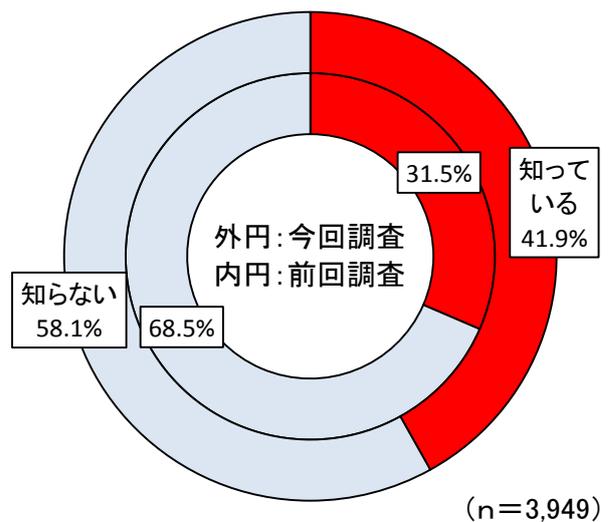
（図表 37）アクセス（2次交通）が満足な理由（アクセスに「満足した」と回答した回答者（構成比 55.9%）



（図表 38）圏央道とアクアラインの利用状況（2次交通で乗用車・タクシー・ハイヤーの利用者）



（図表 39）格安バスの認知度（格安バスの未利用者）



主な実施事業

- 首都圏中央連絡自動車道及び北千葉道路の整備促進に関する要望
- 成田空港からの2次交通等に関する研究会
- 成田空港の国内線の利用状況と国内線を利用する来県者動向に係る調査（2013・2017年度）【成田空港までのアクセス（2次交通）の利用状況の設問あり】